



一本道

相良中学校通信 No.12

令和5年7月7日

校長 吉田憲一

1 研究授業 2年理科、「考察」を結果+根拠の形で発表！

7月4日、2年1組で理科の研究授業を行いました。めあては「蒸散は葉のどこから行われているのだろうか」でした。写真のように、蒸発量を調べて、その結果をもとに考察を考える授業でした。考察は、まず自分で書き、班で発表し合い、班の代表者が全体に発表しました。甲斐ゆづきさんは、結果+根拠の形で、考察を発表しました。まさに、論理的思考力です。(詳細はHP)



2 学級経営力向上研修、講師を招きアドバイスを頂く

6月30日、7月4日の2日間、外部から講師を招いて3年1組と2年1組の授業等を参観していただき、学級経営についてアドバイスをもらいました。



その後、校長室で、担任の先生たちと一緒に話を聞きました。その中で、特に心に残ったことが次の2つです。①学級づくりは、教師の関りを通した「居場所づくり」と「絆づくり」である。②生徒との信頼関係づくりは、言葉だけでなく、態度でも伝える。(言葉30%、態度70%)

本校が進めている学級づくり3ステップ【支持的な雰囲気→前向きな雰囲気→自治的な雰囲気】にも通じるアドバイスでした。

3 人権集会、各学級の人権宣言が各クラスを成長させる

7月7日、人権集会を行いました。その中で、各学級の人権宣言が紹介されました。この人権宣言は、ビジョンつまり目標です。ビジョン達成のために、しっかりとワークつまり「積極的に考動」して行ってほしいと強く願っています。この人権宣言が、きっと、自分たちのクラスを、更に元気なクラスに、更に挑戦できるクラスに、そして、更に成長できるクラスにしてくれることでしょう。楽しみです。



七夕はあいにくの雨ですが、生徒昇降口に願い事が飾られています。次回紹介します。



相良中 HPへ